



楽しいことが育てる力

幼児園の子どもたちは、オリンピック開催から刺激を受け、廃材の中から同じ色を選んで、オリンピック・パラリンピックマークを作り、マークのそばにひらがなで、「おりんぴっくまーく」「ぱらりんぴっくまーく」と、年長組さんが書いてくれています。カタカナで書くと、年少組さんに読めないからひらがなで書こうと相談していたと職員が教えてくれました。そんな日頃の小さなエピソードが嬉しくなります。世界の国旗も絵本や図鑑で調べ、たくさんの国の図柄を真似して描きながら、国の名前も自然と覚えているようです。興味のあることは自分たちで目標を決めながら取り組んでいて、実に楽しそうだなと思います。

先日の夏祭りごっこでも、お寿司やりんごあめ、お弁当についている醤油さしの金魚すくいや、磁石を付けた魚釣り、子どもたちが穴から顔を出すもぐらたたきなど、よくこんないろいろなアイデアが湧き出てくるものだと感心してしまいます。しかも材料は、段ボールや保護者の方が洗って持って来てくださっている廃材ばかりです。子どもたちがお家に帰って、保育園で遊んでいることとお話しているのでしょうか。廃材の箱の中に、明らかに寿司が入っていたと思われる容器を見つけたときは、子どもの気持ち伝わっていることに、ガッツポーズになりました。

長雨の影響からか、幼児園で育てているとうもろこしは、元気がなくて、小さな粒ばかり。元気がなく、悲しい姿になっていますが、これからみんなで収穫し、乾燥を経て、ポップコーンパーティーの予定です。ポップコーンパーティーを楽しみに育てていた子どもたちですが、うまくいかないこともある中で、「なんでこうなってしまったのか?」「これからどうするか」と、考えることが学びの出発点になると期待しています。子どもたちがどう解決していくのか、話し合いが楽しみでもあります。

そして、幼児園の駐車場は、花や育てた野菜よりも、草の方が元気に育ってきていますが、これは、草をすり鉢で擦って、色水を絞り出すという“染物屋さん”に興味を示している子どもたちの教材となる予定です。あえて自然な状態にしてありますので、環境整備の怠慢ではないことを申し添えておきます。

子どもたちの様子を見てみると、“今日はこのあそびの続きがしたい”と、毎日、目的を持って保育園に来ているのだろうということがわかります。あそびの中で、うまくいかないことも出てきますが、その時に、考えたり工夫したり、友だちとアイデアを出し合ったり、力を合わせながら、最後まで粘り強くやり遂げること、これが「遊びは学び」の原点で、「楽しい」ということが、子どもの心を動かす出発点です。興味のあることに夢中になって遊ぶ中で、何事にもやる気のある主体性のある子どもに育っていくのです。赤ちゃんの時から、絶えず退屈させない環境作りの中で、自分から遊びに向かう力を育てていきたいと思っています。

広島県は3回目の緊急事態宣言に入りました。子どもにも感染力が強いと言われるインド由来のデルタ株が猛威を振るう中で、今月予定していた運動会は、乳児園の子どもたちの参加を見合わせる事になりました。今後、夏休みを終えた学校の再開に伴い感染者の急増が考えられます。運動会の開催自体どうなるのかと心配していますが、今、子どもたちが興味を持って繋がっているオリンピックの事、夏祭りごっこのこれからの展開、育てた野菜の事など、楽しく繋げながら、同時に、かけっこで友だちと競うこと、友だちと息を合わせる達成感なども、それぞれの年齢で味わっていききたいと思います。今後の状況により、運動会もさらに形を変えることも考えられます。引き続き、感染防止のご協力をお願いいたします。 園長



コロナと共生しながら育まれている非認知能力について

コロナ感染急拡大の中ですが、子どもたちは毎日、たくさんの成長を見せてくれています。引き続き、感染予防には十分注意しながら、今できる関わりやあそびを考え工夫していきたいと思っています。



段ボールの中にみんな入りたくて、入りたくて…。それなら、繋げて大きくしてみようということになって、一緒にテーブルを使って、つなげてみることになりました。

こう?



ここにもはるよー

長いトンネルになりました。

ばあ～



段ボールをくぐりたかったり、工夫しながらテーブルを貼ったりと、それぞれの様子を感じながら遊ばらうおんぐみさん。自分のやってみたいことを楽しみながらあそびが繋がっている姿に成長を感じます。

乳児園主任



しろぐみさんは、プラネタリウムに行った経験や、オリンピックをお家で観戦したことで、地球儀を使ってのあそびが盛り上がっていました。あかぐみさんは、側で興味津々で見えています。



「あかぐみさんもやってみる?」としろぐみさんが使い方を側で教えてあげながら遊んでいます。



何日もしろぐみさんと繰り返し遊んでいたあかぐみさん。今ではしろぐみさんがいなくても遊べるようになりました。

4月から異年齢で過ごしていく中で、お兄ちゃんおねえちゃんに教えてもらったあそびなどがそれぞれのクラスで引き続き楽しむ姿が見られます。一緒に過ごせる時間は短くなりましたが、子どもたちの中には異年齢で育った力がちゃんと身についています。

幼児園主任